

ばく露作業報告集計表(1,3-プロパンスルトン)

別添 3

①作業の種類	⑫用途	②事業場数※1	当該作業従事労働者数(人)		製剤等の製造量・消費量(トン)			対象物の量(トン)			当該作業従事時間(時間/月)				⑰換気設備設置状況(作業数)				⑱保護具使用状況(作業数)						⑲性状(作業数)				⑳温度(作業数)							
			④総数※2	⑤事業場当たり平均	⑥総量※2	⑦事業場当たり平均	⑧労働者当たり平均	⑨総量※2	⑩事業場当たり平均	⑪労働者当たり平均	⑬コード(作業数)				局所排気装置	ブッシュアップ	全体換気装置	その他	防じんマスク	防毒マスク	保護衣	保護眼鏡	保護手袋	なし	その他	固体	粉末	液体	気体	50℃未満	50℃以上100℃未満	100℃以上				
											1~20hr	21~50hr	51~100r	101hr~																			⑭総従事時間※3	⑮事業場当たり平均※3	⑯労働者当たり平均※3	
33 計量、配合、注入、投入又は小分けの作業	02(他の製剤等の製造を目的とした原料としての使用)3作業	2	3	66	33.0	3.2	1.6	0.0	3.2	1.6	0.0	3					30	15.0	0.5	2				1	1	1	1	3	3			2	1	3		
34 サンプルング、分析、試験又は研究の作業	03(製剤等の性状等を安定させ、又は変化させることを目的とした、触媒として、又は安定剤、可塑剤、硬化剤、難燃剤、乳化剤、可溶化剤、分散剤、加硫剤等の添加剤としての使用)3作業	1	3	19	19.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3					30	30.0	1.6	3							3	3			1	2	3			
合計 (⑬以降は全作業における割合)		(※)2	6	85		3.2			3.2			100%	0%	0%	0%				83%	0%	0%	17%	17%	17%	17%	100%	100%	0%	0%	50%	0%	50%	0%	100%	0%	0%

※1 1事業場で複数の作業を行っている場合は重複してカウントしているため、実際の事業場数より多くなっている。ただし、合計欄は実事業場数。
 ※2 同一の労働者又は製剤等で複数の作業に重複してカウントされる場合があるので、実際の労働者数又は製剤等の量より多く見積もっている場合がある。
 ※3 コード1:10時間、コード2:35時間、コード3:75時間、コード4:125時間として算出